平 野 中 だ よ り

令和７年３月３日

＜学校教育目標＞ ともに 学び 挑み 夢を語る生徒

【合言葉】～ かがやきサイクルでレッツチャレンジ！～

蓮田市立平野中学校 TEL 048-766-9003
ホームページ http://hiranojhs.o.oo7.jp
Ｅメール　j-hirano.hasuda@nifty.com
心のホット相談室　TEL&FAX　766-9393

個性あふれる花を

校長

【校舎の前に咲く梅の花】

早いもので、令和６年度も締めくくりの月を迎えました。校舎の前に立つ一本の梅の木は、一つ一つのつぼみが我先にと言わんばかりに次々に開き、その鮮やかな色が春の訪れを感じさせてくれています。まるで、まもなく卒業を迎える３年生の巣立ちを応援しようとしているかのようです。

梅のもつ花言葉の一つに、「忍耐」があります。寒い冬を耐え抜いて最初に咲く梅の花は、困難に立ち向かう勇気や、春の到来を告げる希望の象徴とされています。まさに、入試という壁を乗り越えて、希望と不安の入り混じる新しい春を迎えようとしている今の３年生にぴったりだと感じました。

「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。」

これは、２０００年シドニーオリンピックの女子マラソンで、日本女子陸上界で史上初となる金メダルを獲得した高橋尚子さんが、座右の銘としていた言葉です。

高橋さんは、オリンピックまでの道のりが全て順調だったわけではありません。多くの困難や挫折を味わってきました。それでも努力を続けられたのは、高校時代の恩師から送られたこの言葉が支えになっていたからだそうです。そして、いくつもの苦しみを乗り越えて栄光にたどり着くことができたのです。

ここで私が思うのは、同じ何も咲かない寒い日でも、楽しみながら根を伸ばせるときもあれば、辛く苦しい思いをしながら根を伸ばすときもあるのだということです。勉強や練習が楽しいときもあれば、そうでないときもありますよね。もちろん個人差もあります。周りを見て、なんで自分だけがこんなに辛い思いをしているのだろうと感じるときもあるかもしれません。しかし、そんなときでも必ず、やがて花を咲かせるための根は伸びているということを忘れないでください。根の張り方が一人一人違うからこそ、人それぞれの個性あふれる花が咲くのだと思います。

４月になると、３年生は新しい環境で、１・２年生は学年が一つ上がって新年度を迎えます。ぜひ、自分なりの、自分にしかない色や形の花を咲かせるために努力を続けてください。

最後に、保護者・地域の皆様におかれましては、今年度本校の教育活動にあたたかい御理解と御協力をいただきましたことに心から感謝いたします。ありがとうございました。

【活躍する卒業生】小山翔也さん（駒澤大学２年）～箱根駅伝復路優勝最終１０区走者～

平野中学校の卒業生にも、全国レベルで活躍する長距離ランナーがいます。小山翔也さんです。箱根駅伝の出場は中学時代からの目標だったそうですが、それを達成した今はさらに次の目標に向かって根を伸ばしています。やがては世界の舞台で表彰台に登る日が来るかもしれません。自分たちの学校の卒業生にこのような選手がいることは本当に心強いですね。さらなる活躍が楽しみです！